



第34回

地域おこし協力隊が行く！

実は隣のスゴイ人



【今回のスゴイ人】
東原 秋子さん

曾於市内のスゴイ人にスゴイ人を紹介してもらうこのコーナー。前回のスゴイ人、樋渡 志郎さんにご紹介いただいたこの方は、「**お店の枠を超えて楽しいことをしているスゴイ人**」とのこと。インタビューア－は、江藤 裕一でお届けします。

今回、末吉町諏訪方にある花屋『花カフェ』の東原秋子さんにお話を伺いました。

東原さん自身は喜入町出身。以前は先生として、県内あちこちの学校をまわっていました。実験など実地で行う授業が好きで学校でイベントなどを行う際には東原さんへ相談されることが多かったそうですが、勤務していた学校の閉校を機に退職を決意。



「教員が好きで教員生活が充実していたからこそ、全く別な人生も経験してみたかったので思い切ってみました(笑)」

花が好きだったことから「仕事にできたら」とフラワーアカデミーに通い、その後鹿児島市内にて花屋に勤務。自身のお店を開きたいと思いご主人がこちらの出身だったこともあって曾於市で開業しました。

『花カフェ』というお店の名前は「花を買うという理由がないと花屋に行かないのではなく、いつでも来てもらいたい」との思いから。実際にコーヒーを飲めるようにし、ワークショップの開催やイベント出店など人との関わりを大切に、花屋の枠を超え楽しい時間を作り出しています。今年の10月には音楽イベントも企画されています。

起業し自分の想いをしっかりと持ちカタチにしている東原さんの『花カフェ』は、お花で癒されるだけでなく様々なコラボレーションにて新たな空間を創り出していくことがとても楽しみです。

協力隊の活動報告

9月に入り、曾於市へ来て5カ月目になります。地域に関してわからないことだらけでしたが、ほんの少しバージョンアップできたかなと。先日、市主催で行われている「若者定住推進会議」に参加させていただきました。

講師としてこられた日南市油津応援団の木藤さんのお話から思ったことは、地域の特性を見落とさず様々な可能性へとつなげていくこと。何がきっかけでどうつながっていくかわからない。何にでも可能性があるから当たり前を普通としないようにしていこうと感じました。ワークショップでは地域の方々の熱い思いが伝わり、皆さんの思いがどのような形になっていくかこれからが楽しみです。



江藤 裕一